




教材名 名画クイズ（鑑賞）	授業名 美術								
学部 高等部									
<div><div><div>①きりっとした表情で ひょうじょう</div><div>②こちらをにらんでいる</div><div>③時代劇に出てきそうな人 じだいげき</div></div><div><div>おおくび え 大首絵 とうしゅうざいしやかく (東洲斎写楽)</div></div></div> <div>スライドの一部 他は別紙参照</div>									
<div><table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></div> <div>←手元で表示する選択肢のプリント</div>		①	②	③	④				
①	②	③	④						
									
<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 作品（絵）の特徴となるヒントから観察し、どの絵を指すか答えることができる。（選択制）</li><li>・ 作品（絵）の題名や作者について知る。</li><li>・ 作品（絵）から見てとれることや印象について発表することができる。</li></ul>									
<p>工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 楽しみながら絵を観察できるよう、クイズ形式にして鑑賞に取り組んだ。</li><li>・ １～４の札を用意して答えさせるようにし、他の授業のクイズでも使用するようにした。</li><li>・ 見たことのある絵を織り交ぜ、発言しやすいようにした。</li><li>・ 黒板（ホワイトボード）に注視することが難しい生徒には、手元の絵を見て選択できるよう、プリントを用意して取り組んだ。</li></ul>									
<p>活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 絵画をクイズにしたが、スリーヒントクイズとして国語で取り組んだり、ヒントから答えを考えるのではなく、ヒントとなる言葉を考える学習に変えたりすることができる。</li></ul> <p>生徒の様子</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ クイズとしたことで、生徒は楽しみながら作品（絵）をよく見ることができた。</li><li>・ 作品（絵）とヒントから、作品中の白い飲み物は何かを考えたり、持っている楽器は何かについて考えたり、想像を膨らませながら作品を見ることができた。</li><li>・ 人物が描かれた作品（絵）の中でも、全体像や表情などから適した作品（絵）を選択して答えたり、衣服から日本の絵、外国の絵と区別したりする様子が見られた。</li><li>・ １２枚の絵から好きな絵を選ぶ活動では、それぞれ「有名な絵だから」「色が好きだから」など、選択した理由も含めて発表することができた。</li></ul>									
<p>その他（材料、作成費用、購入先など）</p> <p>うつくしい絵（教科用図書）、印刷した絵画（A4 サイズ）、クイズの作成スライド</p>									